

東京23区が
見える。わかる。

2024 SUMMER

Vol.57

ワンツースリー One23

公益財団法人特別区協議会 特別区自治情報・交流センター発行の東京23区情報誌

特 集

知の施設 あんなこんなの教育施設紹介

■知の施設

- 千代田区…千代田区立日比谷図書文化館
- 中央区…中央区立郷土資料館
- 港区…港区立小中一貫教育校赤坂学園
- 新宿区…新宿区立教育センター プラネタリウム
- 文京区…文京区教育センター
- 台東区…台東区立東浅草小学校

■クマなくさんぽ

…体験型複合施設

足立区 ギャラクシティ

■所蔵資料蔵出し

…「全国市町村便覧 附・分縣地図」

もっと活用しよう!

特別区自治情報

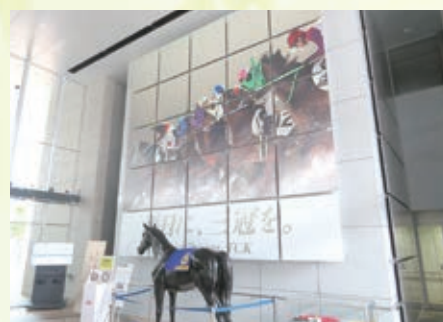
特別区競馬組合紹介展示 「東京シティ競馬展～トゥインクルレースの魅力紹介～」

令和6年5月11日(土)から7月2日(火)まで、東京区政会館1階エントランスホールにおいて、特別区競馬組合との共催によるパネル展示「東京シティ競馬展～トゥインクルレースの魅力紹介～」を開催しています。

特別区競馬組合は、日本初のナイトー競馬「トゥインクルレース」で有名な東京シティ競馬を主催しており、競馬事業で得た収益の一部を23区や災害復興に拠出することで、「地方財政の改善」に寄与しています。

今回の展示では、新たな3歳ダート三冠競走の創設やオーストラリア産「白い砂」の導入、世界唯一となる左右両回りコースなど、日本のダート競馬界を牽引する東京シティ競馬の魅力を、パネルや映像、TCKグッズなどを中心にご紹介しています。

展示会場の様子



また、展示期間中は、大井競馬場のコースで実際に使用されている砂の一部を展示しています。「見る」だけでなく、実際に「触って」楽しむことで、競馬場をより身近に感じていただけます。



東京シティ競馬(TCK)
PRキャラクター「うまたせ!」



令和6年度第1回全国連携展示

こんなことやるよ

平成26(2014)年9月に開始した特別区全国連携プロジェクトは、令和6(2024)年に10年の節目を迎えます。そこで今年度は、全2回の全国連携展示を通して、これまでの取組の実績や振り返りを行います。前半の展示では、23区で行われた連携事業の紹介や、プロジェクトの賛同自治体、広域連携協定締結団体、包括連携協定締結企業からのコメントなどを通じて10年で広がった全国連携の輪を紹介します。



開催日 令和6年7月9日(火)～8月29日(木)

展示時間 平日 午前9時～午後8時30分/土曜日 午前9時～午後5時

会場 東京区政会館1階エントランスホール(千代田区飯田橋3-5-1)

主催 特別区長会・公益財団法人特別区協議会



・交流センター

特別区自治情報・交流センターとは？

23区(特別区)と地方自治の専門図書館として約11万9千冊の資料を所蔵しています。特別区や地方自治について知りたい、調べたいときなどにご利用ください。

所蔵資料
蔵出し

当センターの資料から読み解いてみよう!

おすすめのほんだよ



▶▶ 全国市町村便覧 附・^{ぶんけん}分縣地図 新調査決定版

日本地方行政研究會 編著 昭和22(1947)年発行



今回は、「全国市町村便覧 附・^{ぶんけん}分縣地圖 新調査決定版」をご紹介します。

本書には、昭和22(1947)年当時の全国区市町村別の人口や町・字の名称、学校・官公署・銀行等の所在地と、都道府県別の地図が掲載されています。

このような地方の現状を正確に記した資料は、戦前にも作製されていましたが、戦時下での情報統制により発行が禁止されてしまいました。また、以前の資料も戦禍の中で失われていきました。

そこで本書は、終戦を機に、改めて日常的な社会活動、ひいては地方自治政治等に役立てることを目的とし、1年6か月という月日をかけて作製されました。



右は、昭和22(1947)年4月当時の東京都の地図です。特別区は23区ではなく、22区に分けられています。このように、当初から23区だったわけではなく、区の数にも変遷があります。

東京都が誕生した昭和18(1943)年当時は35区でした。しかし、終戦後、区の自治権が拡充されたことや、戦禍によって各区の人口分布がアンバランスになったこと等を受け、本書の発行年でもある昭和22(1947)年の3月15日に、22区へと整理統合されました。

さらに、同年8月1日に板橋区から練馬区が分離・独立したことで23区となり、現在のような特別区の姿となりました。

★これらの古い資料は実際に手にとって閲覧いただけます。興味のある方はお気軽にカウンターまでお声がけください。

普段とは違う視点から見た23区、
知ればもっと面白い！

コマなく さんぽ



足立区

子どもたちが遊びながら学ぶ 「ギャラクシティ」

「ギャラクシティ」は、子どもたちが遊びながら学ぶことのできる体験型複合施設です。ワクワクドキドキする遊びやさまざまな体験を通じて、子どもたちの好奇心と夢やチャレンジ精神を育てています。

出会いと体験で夢を実現する

ギャラクシティは、「こども科学館」と「西新井文化ホール」からなる複合施設として、1994年3月にオープンしました。2013年に、展示品やプラネタリウム等の経年劣化や来場者数の減少と子どもたちの体験の機会減少などの理由からリニューアルを行い、遊具やワークショップを中心とした体験型の複合施設として生まれ変わりました。現在は、体と創造力を使った遊びができる「こども未来創造館」と、イベントやコンサートなどが開催される「西新井文化ホール」からなり、さまざまな体験やたくさんの出会いを通して、子どもたちが好きなことややりたい自分を見つけ、それに向かってチャレンジできる施設を目指しています。

遊びながら学び好奇心を育てる

こども未来創造館は、高さ7.5mのクライミングウォールや、国内最大級のネット遊具、23区最大のドームを有するプラネタリウム「まるちたいけんドーム」等の施設からなり、体と創造力を使った遊びができる入館無料の体験型施設です。「しる・まなぶ・つくる・うごかす・あじわう・かなでる」といった体験を通して遊びながら学ぶことのできるさまざまなアトラクションのほか、子どもの知的好奇心をくすぐるプログラムも充実しています。星空のみならず映像作品も楽しめるまるちたいけんドームでは、「大人のためのプラネタリウム」など、大人向けの魅力あふれるプログラムも提供しています。

誰もが思い切り楽しめる場所に

ギャラクシティには、「子どもたちに好奇心や冒険心を持って、夢のある未来を生きてほしい」という願いがあります。それを叶える環境を提供し続けていけるように、社会状況に変化・対応しながら進化していきたい、そして、子どもたちの目をキラキラさせる施設でありたいと考えています。同施設ではまた、障がいを持つ方も思い切り楽しめるようにサービス向上に力を入れています。子どもやその保護者だけでなく、中高生や大人、障がいを持つ方など誰もが生涯を通して楽しめる施設として、区内外問わず利用されています。



▲「まるちたいけんドーム」では、宇宙体験のほか映像作品やコンサートも



▲高さ7.5mの本格的クライミングが楽しめる「がんばるウォール」



▲日本最大級のネット遊具「スペースあすれちっく」



▲「ものづくりガレージ」では工作やワークショップを開催



▲からだを使うデジタルゲーム「デジタルぎゃんぱす」



▲幅広い世代が公演やイベントを楽しめる「西新井文化ホール」

ギャラクシティでは、 さまざまなイベントや講座を開催しています。

- 8月 こどもおしごとらんど
- 11月 あだち鉄道ミュージアムスペシャル
- 12月 クリスマスイベント
- 2月 ジャパンフェスタ
- 3月 ストリートピアノフェス

足立区ギャラクシティ

- 所在地 足立区栗原1-3-1
- 開館時間 9:00 ~ 21:30
(こども体験エリアは～ 18:00)
- 休館日 第2月曜(祝日の場合は翌平日、8月を除く)、元日
※施設点検のため、上記に加えて1月・3月・9月に連続休館あり
- 入館料 無料(まるちたいけんドームや一部の体験プログラムは有料)
- アクセス 東京スカイツリーライン西新井駅より徒歩3分
- お問合わせ 03-5242-8161





特集

第1回(全4回)

知の施設



あんなこんな教育施設紹介

今回から4回にわたり東京23区のエデュ施設を特集! 今回は計6区をピックアップします!



千代田区



緑豊かな日比谷公園の中にある「知の拠点」

日比谷図書文化館は、本を読み調べる「図書館」と、歴史や多彩な文化情報を展示する「ミュージアム」、さまざまな講座やイベントを行う「カレッジ」が一体となった複合文化施設です。千代田区の歴史と文化を収蔵資料とともに紹介する常設展示室と、年3〜4回テーマに沿って特別展を実施する特別展示室、約22万冊の蔵書と約300の閲覧席を有する図書フロア、戦前期の官僚内田嘉吉の旧蔵図書を公開している特別研究室などからなる「千代田区の知の拠点」として、新たな興味と関心を広げる役割を担っています。



「日比谷カレッジ」と題し、ビジネススキルアップや江戸・東京の歴史文化、アート、本、センスアップの多彩なテーマで、講座やセミナー、ワークショップなどを幅広い層を対象に開催しており、さまざまな「学び」と「交流」の場を創出しています。シリーズとして開催している「星空教室」や「展覧会への入口講座」などが人気です。

千代田区立日比谷図書文化館

所在地 千代田区日比谷公園1-4
開館時間 月〜金10:00〜22:00
土10:00〜19:00、日・祝10:00〜17:00
休館日 第3月曜日、12/29〜1/3、特別整理期間
入館料 無料
アクセス 東京メトロ丸の内線・千代田線
日比谷線 麹町駅より徒歩3分
お問い合わせ 03-3502-3340
当施設に駐車場・駐輪場はございません。
公共交通機関をご利用ください。



中央区



歴史や文化を知ることによって区への愛着が芽生える

京橋図書館との複合施設「本の森ちゅうおう」内にある中央区立郷土資料館では、中央区の貴重な文化財を所蔵しています。1階の常設展示室は、中央区の歴史・文化を伝えるテーマ別の資料展示に加えて、9面マルチモニターで歴史絵巻を楽しめるコーナーや床全体に拡大印刷された昭和25年の区内の詳細地図を見ることが出来ます。また、2階の企画展示室では、特別展・企画展を定期的に開催しています。



館内は、併設図書館を意識して「歴史の本棚」をイメージした内装となっており、第17回日本サインデザイン大賞・経済産業大臣賞にも選ばれました。展示やイベントを通じて、歴史・文化の発信をしていくとともに、「本の森ちゅうおう」として中央区における生涯学習の拠点施設を目指しています。

中央区立郷土資料館

所在地 中央区新富1-13-14
開館時間 月〜土9:00〜21:00、日・祝9:00〜17:00
休館日 第3木曜日、年末年始(12/31〜1/2)、臨時休館あり
入館料 無料
アクセス 東京メトロ日比谷線・JR八丁堀駅より徒歩1分
お問い合わせ 03-3551-2167



港区



東京ミッドタウンに隣接した小中一貫教育校

2022年(令和4年)に赤坂中学校の新校舎が落成し、既存の赤坂小学校校舎と上空通路でつながったことを契機に、2023年(令和5年)4月に小中一貫教育校として開校しました。小中学校と隣接する中之町幼稚園の枠を超えた施設整備により、各園各校間の指導内容の共有や特色ある教育活動を推進しています。中学校の新校舎に設けた「交流ホール」や校内にある「温水プール」の地域開放などにより、地域の人材を活かした学校運営と学校・家庭・地域との協働を目指しています。



小中つながる上空通路や園児が中学校の校庭や校舎に直接出入りできるようになっているなど、幼小中間の連携や交流活動が行いやすい環境が整っています。新校舎には、300人が収容できる「ランチルーム」や図書室にCT環境を備えた「メディアセンター」、すべての教科用の「教科教室」など多様な施設が揃っています。

港区立小中一貫教育校 赤坂学園

所在地 赤坂小学校・港区赤坂8-13-29
赤坂中学校・港区赤坂9-2-3
アクセス 東京メトロ千代田線・乃木坂駅より徒歩7分
お問い合わせ 赤坂小学校:03-3404-8602
赤坂中学校:03-3402-9306



新宿区



レトロで貴重な投影機を目当てに訪れるファンも

区内の幼児・児童・生徒を対象にした「学習投影」と、「一般公開による投影」を実施しています。太陽や月の動き、星の並び方や星座にまつわる話などを織り交ぜた学習投影は、都内でも数少なくなり、新宿区プラネタリウムの特徴となっています。一般投影は、子どもの休日の居場所事業の一環として、また区民一般の方も対象に年間27日ほど実施しています。科学教育の振興とその充実を図ることをコンセプトとし、プラネタリウム鑑賞により、天文に対する興味と関心を深めることを目的としています。



現在では珍しくなった大きな投影機を備えた、レトロでアットホームな雰囲気のアナログプラネタリウムです。ドーム一面に映し出される春夏秋冬の季節に合わせた番組に、子どもは心躍り、大人は懐かしい気持ちになるのではないのでしょうか。美しい満天の星空を、誰でも気軽に楽しめるスポットです。

新宿区立教育センター プラネタリウム

所在地 新宿区大久保3-1-2
開館日 不定期、7/8月は、7/13(土)、21(日)、8/3(土)、4(日)、9(金)、10(土)、11(日)、18(日) 1日3回投影
休館日 不定休
利用料金 大人(高校生以上):300円 中学生以下:無料
アクセス 東京メトロ副都心線西早稲田駅より徒歩3分
新宿コスミックセンター 公益財団法人
新宿未来創造財団 スポーツ・マラソン部
スポーツ推進第一課 03-3232-7701



文京区



子どもたちの教育や発達を支援する複合施設

平成27年4月に開設した「文京区教育センター」では、教育相談や発達相談のほか、不登校対策としてのふれあい教室の運営、子どもたちの体力向上イベント、自然科学・情報科学講座の開催、教員の研修など、教育に関するさまざまな事業を行っています。また、心身の発達に何らかの遅れや偏りのあるお子さんを対象に集団・個別の療育を行っています。なお、区内で初めての中高生向け施設「青少年プラザ(b-lab)」を併設しています。



b-lab(ビーラボ)は、中高生の秘密基地をコンセプトに、談話スペース、音楽スタジオ、演劇やダンスができるホール、屋外にプレイヤードなどがあります。また、ものづくりやスポーツなどさまざまなイベントを実施しています。b-labでの活動や出会いが、可能性への気づきや新たなチャレンジへのきっかけになることを目指しています。

文京区教育センター(青少年プラザb-lab併設)

所在地 文京区湯島4-7-10
開館時間 教育センター:8:30〜17:15
b-lab:9:00〜21:00
休館日 教育センター:日・祝・年末年始
b-lab:年末年始
利用料金 b-labは中高生無料
アクセス 丸の内線本郷三丁目駅より徒歩10分
大江戸線本郷三丁目駅より徒歩8分
千代田線湯島駅より徒歩8分
教育センター:03-5800-2591
b-lab:03-5800-2731



台東区



特徴的な意匠を残し歴史を伝える震災復興小学校

東浅草小学校は、2001年(平成13年)に待乳山小学校と田中小学校が統合し、創立されました。関東大震災で被災した小学校を鉄筋コンクリート造で再建した震災復興小学校の一つであり、装飾のないインターナショナル・スタイルを取り入れた校舎が特徴です。昭和3年の竣工から約100年、大規模改修を実施しながら現役の校舎として活用しており、関東大震災の記憶を後世に伝え続けています。2022年(令和4年)には、復興小学校のオールデコ風の意匠などを残して校舎を改修しました。



上野の芸術文化と浅草のお祭り文化を身近に感じ、オーケストラや地域の行事など特色ある活動を行っています。「自分やみんなを大切にすること」を教育目標とするなど、開校以来推進している人権尊重教育も特徴的です。歴史と伝統を意識しながら学ぶ児童とともに、校舎の歴史的価値を維持し続けています。

台東区立東浅草小学校

所在地 台東区東浅草2-27-19
アクセス 東京メトロ日比谷線三ノ輪駅より徒歩12分
お問い合わせ 03-3875-0035



特別区自治情報・交流センターからのご案内

東京区政会館1階展示スペース

東京区政会館1階エントランスホールで各種展示を行っています。どなたでも自由にご覧いただけますが、開催期間・時間に変更になる場合もあります。ホームページ等でご確認のうえ、ご来館ください。

開催時間 平日:9:00～20:30 土曜日:9:00～17:00 **休館日** 日曜日・祝日

特別区全国連携プロジェクト 令和6年度第1回全国連携展示

主催 特別区長会、(公財)特別区協議会
期間 令和6年7月9日(火)～8月29日(木)

5区のゆかりから辿る 渋沢栄一新一万円札への道 ～誕生からお札の顔になるまで～

主催 千代田区・中央区・江東区・北区・板橋区・
(公財)特別区協議会
期間 令和6年9月3日(火)～10月30日(水)

「第43回 特別区の統計」を発行しました

「特別区の統計」は、東京23区の様々な行政分野における基礎的な数値をとりまとめたデータ集です。

令和6年3月に、第43回となる2023(令和5年)年版を発行しました。冊子は特別区自治情報・交流センター窓口で販売しています。また、同センターでは、第1回となる昭和56年版からのバックナンバーも閲覧可能です。

なお、特別区協議会のホームページでは、各データをダウンロードして活用できるように、平成19年版以降のデータをExcel形式により掲載し、随時更新しています。

[収録している主な項目]

人口と土地、産業、保健衛生、区民、福祉、環境、教育・文化、
執行機関、財政 など



特別区自治情報・交流センターのご利用について

〒102-0072 千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館4階

開館時間 9:30～20:30(土曜日は9:30～17:00) **休館日** 日曜日、祝日、年末年始等

※ご利用にあたっては、(公財)特別区協議会ホームページ等でご確認のうえ、ご来館ください。

(公財)特別区協議会 ホームページ

<https://www.tokyo-23city.or.jp/>

特別区自治情報・交流センター ホームページ

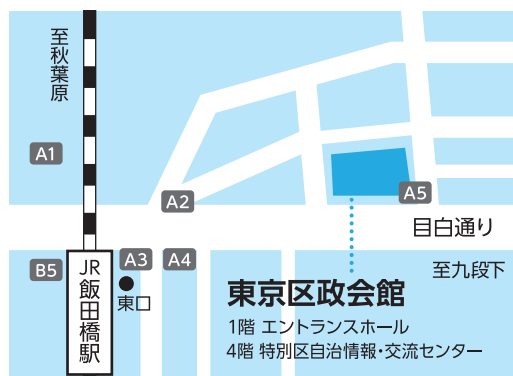
<https://ilisod004.apsel.jp/tokyo-23city/>

特別区自治情報・交流センター(とくべつクマ)

X(旧Twitter)公式アカウント @tokubetsukuma23



特別区自治情報・交流センター



東京メトロ 東西線 飯田橋駅 A5出口すぐ
東京メトロ 有楽町線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
東京メトロ 南北線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
都営地下鉄 大江戸線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
JR中央・総武線 飯田橋駅 東口徒歩2分

編集後記

今回の号では【知の施設】として6区の教育施設をご紹介します。地元にお住まいの方でもご存じない施設に出会えるかもしれません。

表紙:足立区ギャラクシティ外観